

全国の聴覚障がい児の所属する学校へ AI ボイス筆談機「ポケットク mimi®」を無償貸出開始

本日より、希望する学校を募り最大 300 学級へ 3 月末まで貸出

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:小嶋 智彰)は、NPO 法人 Silent Voice(所在地:大阪市中央区安堂寺町 1-3-12 大阪谷町ビル 4F 代表理事:尾中友哉、以下 Silent Voice)と共同で、聴覚障がいのある生徒(児童)の所属する学級へ、AI ボイス筆談機「ポケットク mimi®」の無償貸出を開始します。

本製品は、声を瞬時に文字で画面に表示して、耳の聞こえない・聞こえにくい人とのコミュニケーションを円滑にする IoT 機器です。聴覚障がいのある子どもたちの多くは、学校生活で相手の口元を見て推測することで意思疎通を図っていますが、コロナ禍ではマスクが口元を覆うため、誰が話しているかさえ分からない状況が生まれています。これにより教師の指導内容が理解できない、友人とうまくコミュニケーションが取れないなど、困難な状況が続いています。こうした生徒(児童)が周囲と円滑にコミュニケーションが取れるよう支援するため、Silent Voice と弊社は共同でプロジェクトを発足し、弊社は参加する全国の学校へ「ポケットク mimi®」を無償貸出します。本日 10 月 18 日(月)より、全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に向けて貸出を希望する学級を募集し、2021 年 11 月～2022 年 3 月末までの約 5 カ月間、最大 300 の学級で本製品を使用していただきます。希望する学校は以下申し込みフォームから応募できます。

【 申し込みフォーム 】:<https://forms.gle/XUoth1RGJq8zKtay6>



画像はイメージです

【 本プロジェクトの背景 】

■コロナ禍の聴覚障がいのある児童/生徒の状況

コロナ禍以前より、聴覚障がいのある子どもたちの多くは学校で「口元を見て推測する」ことによって意思疎通を図るという不利な状況でした。コロナ禍ではマスクが口元を覆ってしまうことで「誰が話しているか」さえ分からない状況が生まれています。これにより、学校生活において人間関係が作りづらかったり、指導内容が理解しづらかったりと、聴覚障がいのある生徒(児童)のコロナ禍は長期化しています。

■いま何が必要か？

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティの当事者への実態調査(2020 年 4 月 23 日～26 日)では聴覚障がい者の 52.5%が「情報取得について不便がある」と回答し、音声認識アプリの使用が推奨されています。

感染予防の観点ではマスクを外して口元を見せるといった行為が好ましくないため、授業や部活などの筆談の難しいシーンでは、マスクをしながらでも使用できる音声認識アプリといった最新機器を取り入れることで意思疎通の手段が広がります。

■弊社の支援内容について

弊社は、出荷台数90万台を突破したAI翻訳機「ポケットーク®」の技術を応用し、主に加齢性難聴者とのコミュニケーション支援を中心に「ポケットークmimi」シリーズを展開しています。

本プロジェクトのため、最大300台の端末を最大5ヶ月間無償で貸し出します。

本プロジェクトは弊社とSilent Voiceがそれぞれの強みを活かし協働し、社会的課題の緩和を目指すために誕生しました。なお、本プロジェクト終了後には効果検証を行ない今後の開発などに活かします。

【 本プロジェクトの概要 】

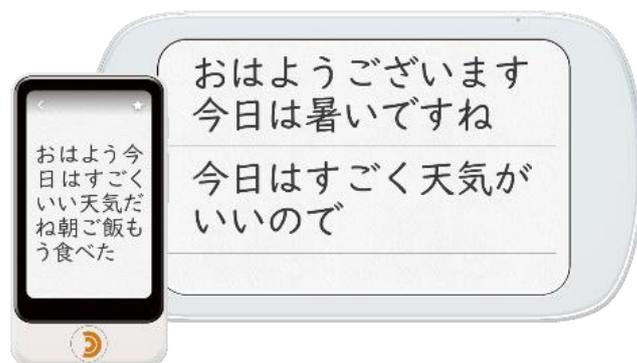
- スケジュール : 2021年10月18日(月) 端末利用希望学級の募集を開始
2021年11月 希望学級へ端末を順次配布および使用開始
2021年12月末 中間アンケートを実施(予定)
2022年3月末、端末の返却、最終アンケートを実施(予定)
- 学級数 : 最大300学級
- 対象 : 全国の聴覚障がいのある小・中・高校生が在籍する学校・学級(普通校、特別支援学校を含む)
- 使用シーン : 友人、家族とのコミュニケーション、授業利用(教師が本製品を利用して授業を行ない、耳の聞こえない・聞こえにくい児童および生徒をサポート) など
- 申し込み : 対象となる学校・学級は以下よりお申し込みください。
<https://forms.gle/XUoth1RGJq8zKtay6>

【 「ポケットークmimi」シリーズとは 】

ソースネクストの「ポケットーク mimi」シリーズは、話した音声をリアルタイムに文字に変換し、画面に表示できる筆談機です。耳の遠い方に大声で話す必要も、文章を手で書く必要もありません。話して画面を見せるだけで、快適な筆談ができます。決まった場所に据え置きで使うのに便利な、画面が大きいタブレット型の「ポケットークmimi タブレット」と、持ち運びに便利な「ポケットークmimi コンパクト」の2つのラインアップがあります。

口の動きを見て言葉を読み取る難聴者の方にとっては、マスクの着用が必須となった昨今の状況が、コミュニケーションを取るうえで大きな障壁になっています。

「ポケットークmimi」シリーズなら文字で伝えられるので、マスクをしながらも会話が可能です。個人の方はもちろん、高齢者福祉施設や特例子会社などでも活躍しています。



詳細: <https://pocketalkmimi.jp/>

【 プロジェクト担当者コメント 】



ソースネクスト株式会社 執行役員 杉浦圭祐

「ポケットークmimi」シリーズは、もともと加齢性難聴の方との快適なコミュニケーションをサポートする機器として開発しました。Silent Voice様と出会い、コロナ禍で聴覚障がいをお持ちのお子様が必要な状況にあることを知り、当社の製品が少しでも、困っているお子様の笑顔や喜びにつながればという想いで、この度本プロジェクトへご協力させていただくことにいたしました。



NPO法人 Silent Voice 代表理事 尾中 友哉

私たちは毎日聴覚障がいのある子どもや保護者の方々に触れ合う中で、聞こえる人々とはまた違った「コロナ禍」の存在を感じてきました。伝わる手段を1つでも増やし「わかる」を1つでも増やせることが、「コロナ禍」に貴重な学校生活を送っている聴覚障がいのある子どもたちの前進に繋がれば幸いです。課題を共有しソースネクスト様と共同でアクションを起こせることにワクワクしています。

■ソースネクスト株式会社について（URL：<https://sourcenext.co.jp>）

ソースネクスト（東証一部：証券コード4344）は、ソフトウェア、ハードウェア、およびIoT製品の企画/開発/販売を手がける企業です。1996年に設立、更新料0円のパソコン用セキュリティソフト「ZERO」シリーズやハガキ作成ソフト「筆まめ」、「筆王」などを販売しているほか、ロゼッタストーンやEvernoteなど多数の海外ブランドの日本市場進出をサポートしてきました。また、音声翻訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」を開発、日本のみならず世界中に提供しています。昨年、ポケットークユーザーのうち、耳の遠い方が日本語から日本語に翻訳する設定にして、筆談機として使用していたことがきっかけで、「ポケットークmimi」シリーズを開発しました。

■NPO法人Silent Voiceについて（URL：<https://silentvoice.co.jp/>）

「“音のない声”を社会のなかで見える化したい」Silent Voiceの社名にはそんな想いが込められています。ろう児・難聴児がコミュニケーションの壁を越えて夢を叶えていくために、教室型の総合学習塾「デフアカデミー」や全国対象のオンライン対話学習コミュニティ「サークルオー」を提供しています。ろう児・難聴児の教育の選択肢の量および質の向上に貢献し、子どもたちが自信を持ってチャレンジできる環境作りを目指します。

Silent Voiceでは2020年4月から聴覚障がいのある児童/生徒へのコミュニケーションに配慮したオンライン授業および学校への透明マスクの無償提供を続けてきました。既に約2,300回の授業提供、約15,000枚の透明マスク配布を行っており、その中で聴覚障がいのある子ども・保護者・学校とのリレーションを形成しています。